

1. 調査団の「人」の動き

- (1)遠藤宣雄氏(上智大学客員研究員)はこれまで UNV として農村活性化のアドバイザーとして活躍してこられたが、アブサラ付きのアドバイザーとして2001年5月から2年間活動を続けることとなった。
- (2)三輪悟氏は2001年5月から上智大学共同研究者となり、引き続きワット西参道の修復工事の現場責任者として継続することとなった。
- (3)荒樋久雄氏は日本政府出資分の UNV として2001年2月から1年間延長され、現在の業務を継続することとなった。

2. 項査団の研修生の動き

- (1)Tin Tina 君は文部省国費外国人留学生としてこの10月から上智大学大学院地域研究専攻研究生として来日することになった。
- (2)Som Visoth 君は神奈川県海外技術研修員として2001年5月に来日し、現在日本語を勉強中であるが、博物館学、陳列方法論を県内で実習することとなった。期限は2002年3月まで。
- (3)Nuon Mony 君は外務省長期青年招聴プログラムにより2001年6月に来日し、現在日本語を勉強中であるが、9月から徳島県埋蔵文化財センターで実習をする。期限は2002年3月まで。

3. カンボジア政府の人事異動について

アブサラ機構総裁 Vann Molyvann 閣下は6月10日に辞任し、新総裁 Bun Narith 閣下が就任した。その新総裁の下に5名の副総裁が任命された。筆頭副総裁 Soeung Kong 氏(シムリアップ事務局担当)、Ros Borath 氏(遺跡・考古担当)、Tep Hen 氏(都市計画担当)、Ouk Someth 氏(観光担当)、Tam Sam Boun 氏(文化経済担当)、それに加えて同格の立場で Ang Chouleang 氏がクメール文化担当となった。陣容は週に1回プノンペンで会議を開き、合議制によりアブサラを動かしていくこととなった。

4. アンコール・ワット清掃緑陰講座について

第3回緑陰講座は2001年8月26日から31日まで7日間にわたり上智大学アンコール研修所において開催されることとなった。参加者は25名、丸井・荒樋・田代・木村の4氏が担当。

5. 秋篠宮同妃殿下の来訪とご案内

秋篠宮同妃両殿下は6月21日(木)から27日(水)までカンボジアを皇族として初めて公式訪問された。6月24日(日)にシムリアップに到着、翌25日(月)午前10時20分に夕・プロム遺跡を1時間にわたり石澤の案内で見学された。午後16時15分に私たちのアンコール・ワット西参道の作業現場を2時間にわたり視察され、石澤と片桐先生が寺院内の回廊等をご案内した。同日昼食会がアンコール・ヴレレッジで開かれ、石澤と片桐先生の2名が招待を受けた。

6月27日(水)午前9時から2時間にわたりバンテアイ・スレイを見学されるとともに、丸井雅子さんの瓦の説明、荒樋久雄さんの遺跡説明を加え、石澤が案内した。石澤はご出発前の6月5日(火)午前11時から13時まで官邸において事前にカンボジアについてご進講を行なった。帰国後石澤は7月17日に同じく官邸において午後2時より2時間にわたりカンボジア全般についてご進講を行なった。

6. マスコミ報道について

(1) カンボジア密林の巨大遺跡一謎のクメール帝国ー

- 放映日時: 2001年4月22日(日)19時20分~21時20分 NHKハイビジョン
2001年28日(土)19時30分~20時43分 NHK BS-2(「地球に好奇心」)
2001年7月4日(水)23時~23時49分 NHK総合(「地球に乾杯」)

この番組は2000年12月15日~12月30日まで本調査団が遠隔地大遺跡(ベンメリア、バンテアイ・チュマル、サンボール・プレイ・クック、コーケー、大プリアカーン)を調査した時の記録を放映した。

(2)103体の廃仏発掘について

報道記事： 読売新聞2001年3月25日(日)朝刊第2社会面「仏像103体、大半が首切断」
読売新聞2001年4月12日(木)夕刊文化面「王位をめぐる政争」(石澤執筆)
NHK教育テレビ「視点論点」4月17日(火)午後10時45分～55分「アンコール王朝の歴史を塗り替える」(石澤出演)
朝日新聞2001年5月11日(金)朝刊国際面「アンコール遺跡に国宝級石仏103体」

7. 第1回草の根無償資金の受領

日本政府の第1回草の根無償資金がアンコール遺跡国際調査団に授与されることになり、2001年3月1日にプノンペンの日本大使館で調印式が行なわれた。2000年6月に申請中であったカニ・クレーン作業車1台ほか(約700万円相当)が贈与されることが決まった。2001年4月24日にアンコール・ワット西参道の現場に搬入され、小杉さんの指導のもとに操作、実習の訓練が行なわれた。

(文責 石澤良昭)